

竹 田 地 区 地域づくり計画書



竹田地区地域づくり委員会
竹 田 地 区 自 治 振 興 会



高谷山より竹田地区を望む

はじめに

1. 地区の概要

竹田地区は丹波市市島町の北東部に位置し、南北に国道175号線が走り、塩津峠を境に京都府福知山市に隣接、県道708号線（岩崎・市島線）を経て国道9号線から京都市へ。また、JR福知山線「丹波竹田駅」を通じて福知山市、大阪市と連絡しています。中央に竹田川が流れ、平坦部を隔てて主に両山際に集落が連続する静かな農村地帯です。

愛育の祖大野唯四郎、国語教育の権威芦田恵之助、日本文学史に残る俳人西山泊雲・野村泊月兄弟、実業家西川政一など、多くの著名人を輩出しています。寺社は石像寺、清園寺、法楽寺、成願寺、一宮神社、加茂神社、伊都伎神社、二宮神社、三宮神社など句碑や伝説の残る寺社が多く存在します。



2. 計画策定にあたって

平成23年度に「丹波市元気な地域づくり特別事業」が始まり、その時に「竹田地区地域づくり計画書」を当時のまちづくり委員会の皆さんと作成し、竹田地区が抱える課題の解決に向け、その遂行に全力を注いで来ました。この5年間を振り返ってみますと、竹田地区の歴史の掘り起こし、竹田ふれあいセンターの開設、拠点設備の充実、世代間交流の促進など、計画していた事業はほぼ達成しましたが、その効果は目に見えて出るものではありません。「地域づくり」は、これからも続く永遠のテーマです。

今回の計画は、地域づくり委員会の皆さんと自治振興会委員が、改めて竹田地区の現状と課題を分析し、平成28年度から概ね10年後の竹田地区の将来像を見据え、地域課題の解消に向けて、3年後、5年後の地域づくりを目標に、どのような取り組みを行うべきか策定したものです。

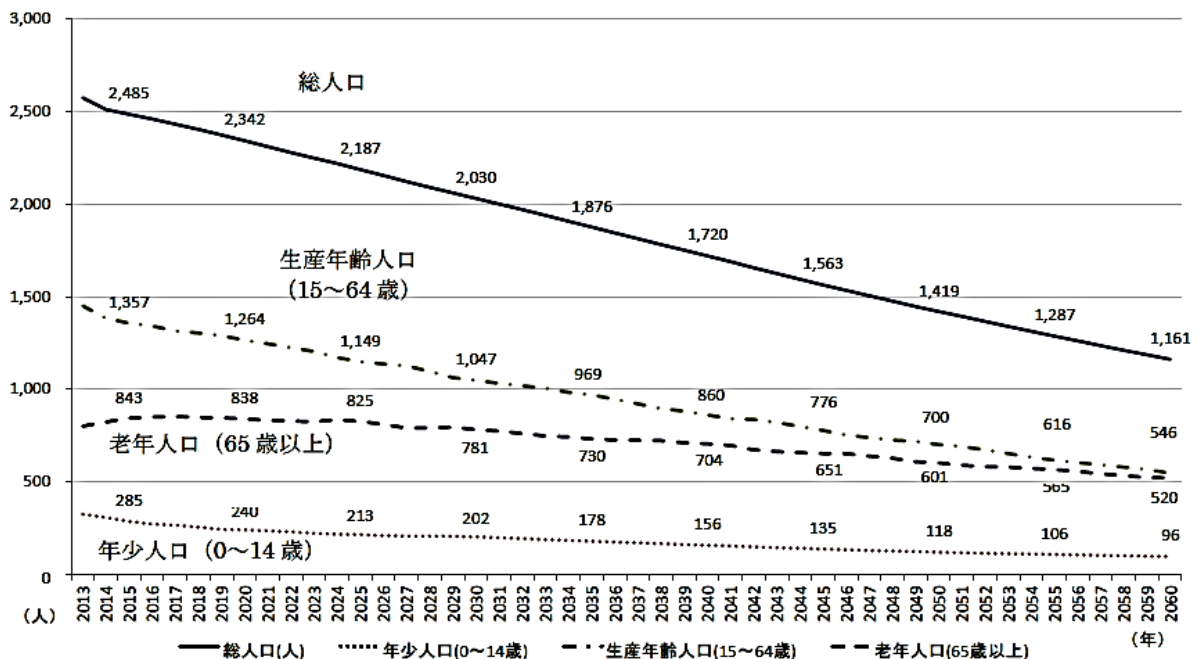
地区の現状と課題と将来像

平成27年度末での竹田地区の高齢化率は33.9%（丹波市全体30.7%）と高く、50%を超えた自治会が1自治会、40%台が6自治会、30%台が5自治会となっています。また、竹田小学校の全校生徒も平成28年では114名の児童が、5年後には80名台になる予測が出ており、竹田地区自治振興会の会員数も平成23年4月は781戸でしたが、平成28年4月には742戸に減少しています。丹波市校区分人口推計の竹田地区（下図）を見ると、2016年3月末で2,439人が2025年には2,187人、2035年には1,876人になり、今よりも約23%減少すると見込まれています。

少子高齢化は、地域の伝統行事の挙行や、歴史・文化の研究・伝承を目的として活動するグループ、ボランティアで活動されているグループ等にも波及し、それぞれ後継者不足に苦慮されています。また、自治会においても、将来の中核となる人材が育っていないようにお聴きします。これには地区や自治会内の活動、世代間交流が減少、あるいは形骸化、マンネリ化し、お互いの絆が薄れ都会型になりつつあることも一因と思われます。

こうした竹田地区の現状と課題を見据え将来を展望した結果、少子高齢化に歯止めを掛けることは到底出来ないことから、誰もが健康で安心して楽しく暮らせる住みよい地域づくりと、何処にいても誇りと郷土愛を忘れない人づくりを中心とした事業を展開することとしました。

年齢3区分別将来人口推計（竹田地区）



（丹波市校区分人口推計）より抜粋

基本計画

以上のことから平成２８年度から始まった新たな「地域づくり事業」は、次にあげる三つの事業を柱として展開し、皆様と共に推進していきます。

１．少子高齢化対策事業

誰もが健康で安心して楽しく暮らせる地域づくりの事業を柱として、子供達には郷土愛を膨らませ、故郷を誇りにしてくれるような事業に力を入れていきます。また、竹田地区を内外にＰＲし、地区を越えた連携など、自治振興会が開催する事業に多くの賛同者が集まるように工夫していきます。そして、高齢化により怠りがちになる環境整備事業や空き家対策、少子化による子育て環境の充実にも取り組む必要があります。

次に、「竹田コミュニティセンター」や「竹田ふれあいセンター」の活動拠点についても、活用をさらに拡大させ、若年者から高齢者まで誰でも使えるセンター、使いたくなるセンターを目指し、引き続き充実を図っていきます。そして、「竹田ふれあいセンター」に併設する「防災倉庫」の備品や設備もさらに充実させ、将来の災害に備え自主防災体制の支援や防犯体制の充実などにも力を入れていきます。

２．人材育成事業

竹田地区を活性化してくれるグループやボランティアグループを支援する事により、参加者や会員の増強を図り、活動の継続と活性化を目指して行きます。また、子供達には自然とのふれあいや郷土の歴史、伝統行事など、様々な学習のバックアップを行います。そしてまず自治会が元気でないと地区も元気になりません。活気有る自治会となる取組を応援していきます。一方、有識者や著名人による講演会の開催、高齢者向け文化教室の開催、といった各個人の能力を高める事業にも目を向けていきます。

３．歴史・文化の発掘と継承事業

竹田地区における伝統行事や有形無形の貴重な財産を広く地区民に認知させ、後世に永く継承することが、現代を生きる者や次世代を担う子供達の郷土愛を育み、地域の活性化に繋がると考えられます。

昭和５４年に発行された「竹田村志」が未だに色あせる事なく読まれ、様々な参考資料として生き続けています。今後も眠っている歴史を掘り起こし、形として残し続ける事業にも取り組んでいきます。

実施計画

竹田地区が抱える課題解決に向けて、平成28年度からおおむね10年間を目途に、基本計画を踏まえ次の様な事項を柱として取り組んでいきます。

また、本計画の実施を進めると共に、「元気な地域づくり事業」で取り組んできた事業を再検証し、新たに地域課題解決に必要な取り組みの検討を随時行い、必要性に応じて計画変更し、折々に合った事業展開を行います。

1. 少子高齢化対策事業

- ・誰もが健康で安心して楽しく暮らせる地域づくりに取り組みます。
- ・活動拠点の充実と利用者の増加を図ります。
- ・子供達が誇りを持ち、郷土愛に溢れる故郷となるよう応援します。
- ・竹田地区を内外にPRし、活気ある地域となるよう情報を発信します。
- ・高齢化で怠りがちな環境整備に取り組みます。
- ・「防災倉庫」の充実と自主防災・防犯体制の支援を行います

2. 人材育成事業

- ・地域の伝統行事、歴史・文化の研究・伝承を目的として活動するグループを応援し、地域住民の郷土愛を醸成し、地域に誇りを持つ人材の育成を行います。
- ・ボランティアで活動されているグループを支援し、自主的な地域活動の活性化を行います。
- ・子供達の様々な教育をバックアップすることにより、故郷を愛し、誇れる人物となる基礎づくりを行います。
- ・地域活動の礎である各自治会が活気ある自治会となるように応援し、地域住民と共に地域づくりを進めます。
- ・有識者や著名人による講演会や文化教室の開催などといった、個人の能力を高める事業を展開します。

3. 歴史・文化の発掘と継承事業

- ・有形無形の歴史・文化を地区民に周知させ、後世に継承します。
- ・眠っている歴史・文化を掘り起こし、形として残します。
- ・歴史資料室の整備・充実を図ります。

おわりに

今回作成した「地域づくり計画書」は、現在の竹田地区の課題を追求し、どうすれば解決の方向に向かうのか、将来の姿はどのように描くのかを、“地域づくり委員会”の皆様と一緒に考えてきました。まだまだ見えていない課題はたくさん有ると思います。これから先、計画を実施していく中で、新たな課題が発生した時には、随時その解決策を検討し、必要であれば計画を変更するなど、臨機応変に対応していきます。したがって、竹田地区をより良くするために、これからも皆様と一緒に活動を進めたいと思います。

これから先、人口は減少し、高齢化が進み、高齢化率 50%を超える自治会が多くなることでしょう。でも、未来はそんなに暗い事ばかりではないと思いを馳せながら、私達の竹田地区を少しでも活力ある元気な地区にするための一つの指針として作成しました。即効薬とはなりませんが、皆様と一緒に知恵を出し合い竹田地区の将来を、より素晴らしいものにしていきたいと思っています。



竹田地区自治振興会

〒669-4302 丹波市市島町中竹田 1637-1

TEL 0795-86-0004 / FAX 0795-86-0444